

〈解答〉

- ① (1) C
(2) (10月) 5日午後9時 (完答)
(3) エ
(4) バイオ燃料 [バイオエタノール]
(5) [例] 昼夜の寒暖の差が大きい

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ① (1) 1図の図法では、赤道から離れるほど、実際の面積よりも大きく示される。よって、赤道上に位置するCは実際の面積に近く、赤道から離れたAは実際にはもっと小さいことになる。
- (2) 東経45度と東経135度の経度差は90度で、時差は $90\text{度} \div 15\text{度} = 6$ 時間である。日付変更線の西側から1日が始まるので、東京の時刻の方が、6時間早い。
- (3) エはピッツバーグで、低くてなだらかな山脈とは、アパラチア山脈のことである。
- (4) バイオ燃料 [バイオエタノール] は、さとうきびやとうもろこしなどの植物原料から作られるアルコール燃料のことである。植物は生長過程で二酸化炭素を吸収しており、燃やしても大気中の二酸化炭素の総量は増えないと考えられるため、地球温暖化対策になる燃料として注目されている。
- (5) Zはアンデス山脈沿いの都市で、標高の差を利用して暮らしている人々がいる。高山地域に見られる特有の気候を高山気候といい、季節による気温、降水量の差は小さいが、昼と夜の気温差は大きい。